

岡山県議会議員

太田正孝

平成23年春号
VOL.12



県政だより Creative Life

自由と民主主義、国と地域を守れ！

編集責任者：太田正孝 岡山市北区平野620-2 TEL.(086)292-1515

東北地方太平洋沖地震により、被災された方々に

心よりお見舞い申し上げます。

少しずつ春めいてまいりましたが、皆様におかれましては、ますますご健勝のことをお慶び申し上げます。

三月十一日発生した東北地方・太平洋沖地震及び大津波・津波で多くの尊い生命が失われました。心よりお悔やみ申し上げます。また、被害に遭われた地域や被害者の皆様にお見舞いを申し上げます。

岡山県も医療関係者・消防隊員をはじめとする人の派遣、毛布・クラッカーなどの物資の提供をしています。また、義援金・

のもと大成功に終わることができましたが、倉敷チボリ公園の閉園、知事の財政危機宣言に象徴されるように財政が悪化の一途をたどりました。そして、いま財政再建が一番の行政課題となっているからです。

現在県は職員の一一六億円の給与カット、県有施設の譲渡もしくは閉館というように行財政改革に終始しています。私が公約していた教育再建、雇用の確保等を十分行えるような状況はなく、歯がゆい思いばかりの四年間でした。

今後については、今のような財政の縮減・圧縮だけではいけないというのが私の持論です。

救援物資受付窓口も設置しましたが、私の事務所にも募金箱を設置しています。被災地の復旧がなされ、一日も早く平安な生活が送れるようになりまことを心よりお祈り申し上げます。

さて、四年前に初当選をさせて頂き、充実した四年間を送らせて頂きました。皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。この四年間の県政は、一歩前

岡山県議会議員
太田 正孝

二月 定例県議会一般質問

岡山県の再建を。

三月四日(金)に今期最後の一般質問を行いました。国益、地域振興に重点を置きました。主

なやり取りを掲載させて頂きますので、どうぞご一読くださいませ。(内容は要旨です。予めお断り致します。)

最重要論点!!

二十三年度当初予算
(六六〇二億円)の
収支プラスとは
何か?



太田まさたか

知事は平成二十三年度予算が六億円のプラスになり、トンネルの先に少し明かりが見えてきたと言いつつ、直ぐに緊急避難的な財政措置でできたもので予断を許さないと付け加えられた。間違いない表現だが、知事に一つ申し上げたい。

この発言は県民に誤解を与えている。県民は県財政がV字回復し始めたのだと思いは始めている。県職員の給与カット、企業会計からの借入によって達成できているのだ。この誤解を解かないと、六億円のプラスがありながら、何故更なる経済対策を打てないのか? 県庁だけが黒字で、県民生活は向上しないではないかとの不満が募るのではないかと心配する。

ついでには、六億円のプラスとは民間企業の黒字とは性質が違ふことと県財政がまだまだ危機であることを知事の口から県民にあらためて話して欲しい。

知事

改革の成果に加え、県税の増収等もあり、経済対策など必要な事業を計上した上で、収支がプラスになっている。しかしながら、独自の給与カット前で見れば、収支不足額は約一一〇億円と依然として高い水準にあるなど、緊急避難的な対策に依存した財政運営には変わりない。

太田まさたか

こうした予算について、知事は「夢と元氣」の岡山づくり予算」と命名され、八十五点と採点されているが、そうなのか? 県予算のベースとなる国家予算案がバラマキで減茶苦茶、それも地方に対しては子ども手当の地方負担を強いたり、地方一括交付金を新設すると地方重視の姿勢を見せながらその実、地方一般財源総額はほとんど増えていない等の状況で、国を減ぼす予算とも言われている。多くの国民が「国」の予算に不安を持ち、国の予算と連動する部分が多く、厳しい予算編成にせざるを得なくなっている。県単独事業などはほとんど行えない。その余裕

すらない。それにもかかわらず、岡山県の予算の評価がなぜ八十五点と高得点になるのか？

知事

義務的負担などもあったが、「選択と集中」を進め、経済対策・雇用対策はもとより、「新エネルギーの普及拡大」、「アジアの活力を捉えた成長・発展」など、本県の将来の発展に向けた施策に重点的に配分することができた。しかしながら、緊急避難的な対策に依存した財政運営を余儀なくされたことから、八十五点とした。

※注「国の予算」について

平成二十三年度国家予算（案）の一般会計は九十二兆円。歳入に当たっては税収が四十二兆円、国債発行は四十四兆円。このままでは借金が膨れ上がり、国家財政が破綻することは時間の問題だ。その話を党大会で石破自民政調会長から



細田元官房長官



石破自民政調会長



佐藤ゆかり参議院議員

もうかがった。また、別な東京の会で佐藤ゆかり参議院議員からはバラマキ政策は国家を減らすとの訴えがあった。国家は大丈夫でなくなっている。福沢諭吉が「立国は私なり。公に非ず。」と訴えているように、まずは自身の自立なくして、国の独立はない。いまこそ一人ひとりが国に思いを持つてほしい。

「県内企業の中国進出」並びに「中国に関する問題」について



太田まさたか

チュニジアでジャスミン革命が起こり、エジプト、リビアと北アフリカの国々へ民主化運動が進行。そして、中国でも各地で民主化集會が呼びかけられている。

現在、苦勞して中国に進出している企業もいずれば大きな混乱に巻き込まれる可能性が非常に大きいのではないかと。私は中国進出を支援してきた県当局の責任として、当然それらの企業を守るべきだと考える。それは生命財産を守らなければならぬことなども勿論だが、企業自体の存続に係る問題にもつながる。そうなれば、岡山経済にも影響が出て、県民の暮らしが悪化する恐れがある。

そこで、中国へ進出している、またこれから進出する県内企業の安全確保について質問する。中国の現状を踏まえ、県としてどのような対応を図ろうと考えられているのか。

産業労働部長

現時点では、進出企業に影響は出ていない。県では六年前、反日デモが頻発した時、デモに関する情報や対応マニュアルを提供したが、今後とも情報収集に努め、県上海事務所を通じて情報提供を行っていく。



太田まさたか

「経済体制」についても課題がある。中国の商取引においては、税率の決定について一定の枠内での裁量が許されるなど未だに官の影響力が非常に強く、先進国企業の頭を悩ませている。さらには、中国国民には質よりも量を求める風土があり、進出する企業にとっては、国内とは全く違う

価値観に翻弄されることもしばしばだ。それは、基礎体力のある大企業では自己防衛能力がまだあるにせよ、中小企業となると、そうもいかない。

また、「岡山県企業の海外事業展開状況調査」によると、平成二十一年十二月末現在で、県内企業は中国に一三六社が進出していて、大きな成果を収めている企業もあるが、丸ごとモノづくりの拠点を岡山から中国等海外に遷し、岡山が空洞化する現象も起きている。

そうしたことを念頭に置くと、県内企業の中国進出についていかにあるべきかを考える時期にきているのではないかと。何のための中国進出なのか？中国に進出すると、本県は潤うのか？本県の雇用はどうなるのか？これらのことについて県としてどのように総括をされているのか。

知事

製造部門の閉鎖もあつたが、新

たな取引が始まった事例もあり、一概に言えない。中国に活路を求めめる企業の動きは今後とも続くと思われることから、中国の社会情勢と県内産業の空洞化に配慮しながら、海外での事業展開の支援と県内企業の経営基盤の強化を促して、県産業の活性化につなげたい。



太田まさたか

来年度予算についても、県内企業のグローバル成長支援事業として五、四九三万円の予算が計上されている。もちろん、対象国として中国も入っている。この予算執行にあたり、どのようなことを進出企業に期待し、県はどのような役割を果たそうとしているのか。

産業労働部長

アジアに県のビジネス支援拠点を設置するとともに、商談会の開催、見本市への出展等により県内企業の取引拡大をサポートしていく。県内企業には一件でも多くの新規受注を獲得することにより、県内での生産や雇用にもプラスの効果をもたらせたい。

岡山空港の経営改善策を



太田まさたか

本県は中国との空路についても、空路を増やしながら、上海便のナイトステイの開始、LCCの誘致などとして、充実を図ろうとしている。

岡山空港利用促進事業費は一、九〇八万円四三%増の六、三二六万円と拡充されている。また医療観光も取り入れようとしている。住民レベルでの交流を活発化させようとの

意図が見えてくるが、先程の中国進出の件も含めて、今後、中国と本県の関係をどのようにしていこうと考えているのか。

知事

中国の様々な地域と交流しており、県内の中国人留学生も十年前の三倍以上の約一、八〇〇人になっている。

中国は近接した国であり、本県の国際化を進める上でも、基軸となる国と位置づけ、経済、文化交流、人的交流を拡大し、長期的な共存共栄の関係を構築したい。



太田まさたか

管理運営に係る収支で岡山空港一億一、三八九万円、岡南飛行場一億八、五五五万円の支出超過、企業会計の考え方を取り入れた収支の営業損益で岡山空港四億九、一三六万円、岡南飛行場も四億一、九三三万円の支出超過になっています。

両方ともその必要性は代表質問の中で説明されているが、毎年このことになると、いくら財政構造改革プランのなかで必要なものとして残したものだと言っても、必要性和コストとのバランスは考えなければならぬ。このような支出超過の状況から脱却する方策を早急にまとめるべきだと考えるが、収支改善策についてどのような対応をとっていく考えなのか。

県民生活部長

岡山空港はさらなる利用促進と路線拡充に積極的に取り組む。岡南飛行場は格納庫用地等への立地促進を図る。

(3)



二月定例県議会で一般質問

県の地球温暖化防止対策について

太田まさたか

国は温室効果ガス二五%削減を打ち出しているが、本県では、平成十九年度には、基準年度である平成二年度に比べ、七二二万トン増加している。本県では、排出量全体に占める製造業からの排出割合が高いという特色があるが、この点については、企業経営や雇用という面についての配慮もある程度必要と考えており、本日はエネルギー部門から議論を進めたい。

地元電力会社は全国十社のうちでも石炭の使用比率が高く、今でもカーボンクレジットなどで大きな負担もしているが、燃料の切り替えが遅れば、炭素税や環境税がさらに大きくかけられ、それは電気料金に反映され、住民負担が大きくなるのではないかと心配をしている。また、それは企業にとっても同じだ。もしも料金が高くなれば、企業誘致においても本県は不利になる。いま、メガソーラーとか打ち出されているが太陽光発電で、県内の総電力使用量の何%を賄うことができるのか。県当局はメガソーラーへの予

知事

算を約五四〇万円、太陽光発電補助金一億一、四四四万円を計上されているが、将来的にどれくらいをカバーしたいと考えているのか。

住宅用太陽光発電の普及率を二十三年度末までに二・五%することを目標にしている。目標は達成できる見込みである。

県内総電力使用量は二十一年度末における割合は〇・三五%で、前年度比〇・一%増加している。カバーできる割合を向上させていきたい。

ガソリンスタンドの存続で過疎化に歯止めを

太田まさたか

吉備中央町の旧賀陽町内で「びほく農協」が経営する五つの給油所が二つに統合される計画が打ち出された。今回の統廃合については、経営の合理化、施設の老朽化などを理由に挙げているが、折しも今年二月から消防法が改正され地下貯蔵タンクの油

漏れ規制が厳しくなり、こうした計画を進めざるを得ない状況に追い込まれていくのは必然となりつつある。そうなれば、自動車のガソリンだけでなく、農機具の燃料、さらには生活に不可欠な暖房の灯油を購入することが困難になり、地域の過疎化に一層の拍車がかかりかねない。その流れを止めようと、真庭では住民パワーでガソリンスタンドを復活させた事例もあるが、これも消防法改正の件で頭を痛めていると聞く。ガソリンスタンドは水道・電気同様にライフラインだ。中山間地域対策として、「ガソリンスタンドの存



吉備中央町の棚田にも影響が。農業従事者の平均年齢69.9歳。

知事

続は地域を守る」という観点を盛り込み、何らかの支援を講じていくべきと考えるが、知事のご所見を伺いたい。

国では来年度消防法の改正に伴う地下タンク改修等に対する支援制度を新たに設けるとともに、ガソリンスタンドの廃業等により供給不安が生じている地域の実態調査と、その調査結果を踏まえての安定供給に向けた実証事業を行うと聞いており、県としてもこうした国の動向も注視しながら、必要な事業を行っていきたい。

次世代自動車クラスタープロジェクトについて

太田まさたか

これまで、(株)シムドライブのプロジェクトに県内企業十社と県、産業振興財団から成るチームが参加し、新型電気自動車の開発に携わって来まして、多くの技術習得をしたものと思う。

今後は、岡山で研究開発を進めるとのことだが、シムドライブへの参加を通じ得られた成果を生かして、どのような体制で、どこに目標を置いて開発を進めるのか。

産業労働部長

次世代自動車に求められる新技術、新製品の創出に向けて、県内企業による技術開発の一層の推進を図ることを目的に、新たな研究開発センターを設置し、岡山モデルの電気自動車の開発を進める。

太田まさたか

今後の見通しとして、自動車のコスト構造における電子部品の割合がガソリン車の二〇%から電気自動車では七〇%に高まると想定をされていますが、これほど高い比率になるのはモーターとバッテリーの価格を入れているためだと思いますが、どうか？

産業労働部長

モーターとバッテリーを含めた比率である。

太田まさたか

二〇%〜七〇%に電子部品の割合が高まると機械加工の仕事が減るが、機械加工の会社は技術転換をする必要があるのではないかと。県の支援が必要だ。どうするのか。

産業労働部長

電気自動車の割合が二〇一〇年には一五%、二〇二〇年には二〇〜三〇%になるというデータがある。今回のプロジェクトには機械加工の企業も参加していて、新しい分野を含む技術革新に対応がで

きるよう取組をしている。県としても、支援制度、補助制度を使って支援していく。

太田まさたか

今回のプロジェクトではどのような開発内容を考えているのか、また、最終的にはどこで生産されることを念頭においているのか？

産業労働部長

参加する企業の希望を聞きながら、決定する。現時点では試作車を商品化する考えはない。

議員立法二本成立

議員立法が少ない。議員の活動が低調なのではないかとの声が聞かれました。

そうしたなか、自民党県議団一期・二期勉強会が中心になって、この二月定例県議会で二本の条例「青少年によるインターネットの適切な利用の推進に関する条例」・「県民の歯と口の健康づくり条例」を議員提案し、成立させました。

これからも議員立法で県政を動かしたいと思えます。皆様からのご意見ご要望をお待ちしています。



同期の県議と一緒に茨城県で「歯の健康条例について」の調査。茨城では歯の健康づくりを頑張っていました。

県議会に新風を!!

太田まさたか 活動フォト日記



県財政の危機を訴える



県政報告会



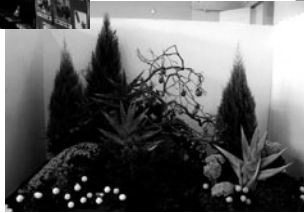
三二集会



巨大吹き流し



Eコ&フードフェア



展示された大型生花

一九六万人の参加、一二九億円の経済効果、盛り上がった文化活動の、今後の展開が課題です。

てくてくまさたか① 第二十五回国民文化祭 (おかやま国文祭)

山の上からは北のきれいな雪山が見えました。

てくてくまさたか② 吉備中央町



吉備中央町の野菜畑

太田まさたか 岡山駅西口 街頭報告



とき **3月27日(日)** 午後3:40~
ところ **岡山駅西口**

緊急情報

東北地方太平洋沖地震における岡山県の対応は次の通りです

災害義援金・救援物資等専用ダイヤル
専用電話番号：**086-226-1500**
受付時間：8時~21時(土、日、祝日を除く)

受付品目／**毛布・紙おむつ・バスタオル・トイレットペーパー**等
(食料品・衣類は受付を行なっていません。)

■消防防災ヘリ「きび」の出動…

- 3月12日 6時54分出動。 15時20分宮城県石巻市で始動。

■緊急消防援助隊の派遣…

- 3月12日 県及び14消防本部から35隊132名を派遣。
- 3月13日 宮城県総合公園に到着。野営を実施。
- 3月14日 宮城県多賀城市中央雨水ポンプ場を拠点に検索活動を実施。

■県警察の派遣…

- 3月11日 広域緊急援助隊等49名を福島県に派遣。被災者の避難誘導、交通規制等の活動を担当。
- 3月13日 広域緊急援助隊10名を追加派遣。
- 3月16日 機動隊59名を東北地方に追加派遣。

■緊急救援物資の輸送…

- 3月13日 毛布1520枚 宮城県に輸送。

■心のケアチームの派遣…

- 3月16日 8名を宮城県に派遣。

■県営住宅への一時入居(30戸)…

- 3月16日 決定告知。

■児童生徒の就学機会の確保…

- 3月16日 決定告知。

義援金箱は
太田まさたか
事務所にも
設置しています

(対応情報は3月16日現在のものです)

編集後記

今回の東北地方太平洋沖地震での津波。町の水没、原発爆発など大きな被害を各地域でもたらせた。想像をはるかに超えるものだ。そして、「想定外」との言葉が政府関係者、学識者などから出されている。その言葉通りだと思ふ。しかし、「想定外」の言葉で問題を結論付けてしまうと、何も解決されない。原発など危険なものについての設計は安全マージンをもっと大きくとるべきだ。今回の震災は戦後最大級であるが、一人ひとりができることをして乗り越えて、もう一度良い国を作ろうではないか。日本には底力があるはずだ。(M・O)

地域活性情報!!

日本エアロフォージ(株)、玉島ハーバーアイランドへ進出。

三月初め日本エアロフォージ社が玉島ハーバーアイランドに進出することを決定。規模は約五万㎡(処分予定価格約八億八千万円)、投資額一九〇億円、従業員数当初約三〇名、稼働開始平成二十四年三月である。事業内容はチタン鍛造、ニッケル鍛造等で、航空機構造用部材、エンジン部材などの製造で、今後の展開が期待される。